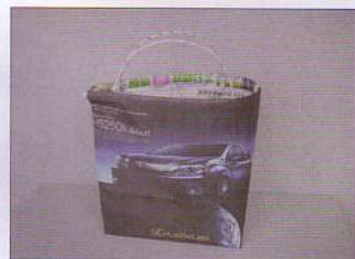
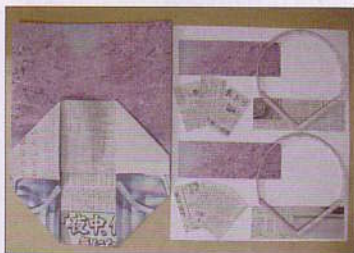


新聞紙を再利用するアイデア。 作って楽しい、使って楽しいエコバッグ!

ペパバッグは、新聞紙3〜4枚を再利用して作るエコバッグ。新聞、のり、はさみがあれば簡単に作ることができ、3〜4kg以上の重さにも十分耐えられます。新聞に掲載されたカラフルな広告を利用して作ることで、仕上がりのデザインをイメージしながら、楽しく作ることができるのも特徴です。読まれてすぐに捨てられるはずの新聞広告がバッグのデザインとして蘇るので、広告主にとってもメリットは大。海外の新聞を再利用すれば、ちよっとハイセンスなペパバッグが出来上がります。

ペパバッグが誕生したのは福岡県。新聞リサイクル促進と公共交通振興を目的とした「歩く森の活動」を行なうNPO法人新聞環境システム研究所から生まれました。2008年には新聞ペパバッグの作り方などを載せた冊子「歩く森」を発行。これまでも新聞ペパバッグ



==取材協力

NPO法人新聞環境システム研究所
<http://www.pepa.jp/>

は全国各地で作られています。紹介した本はなかったということもあり、ホームページを通じて購入者が増え、全国に広まりました。ペパバッグ手づくり講習会も開催しており、推定3万人以上がペパバッグ作りに取り組んでいます。

このペパバッグは、地域通貨ペパと連携しています。地域通貨ペパは、新聞リサイクル活動の対価として地域住民に配布される地域通貨。1ペパは新聞紙1kgに相当し、電車やバスなど地元の公共交通機関で割引券



「歩く森(初版)」

として使用できます。この地域通貨は割引額と同額でNPOが買い取るため、事業者の金銭的な負担がありません。その資金は、収集した新聞を資源として販売した収益のほか、ペパバッグなどの売上によって確保されます。つまりペパバッグや冊子を購入することが、公共交通機関の利用促進になり、結果的にCO2削減につながるというわけです。

ペパバッグは福岡県内のほぼ一円に浸透したので、今後は関東エリアに活動を広げていくとのこと。今後の動きから目が離せません。ホームページ上ではペパバッグの手づくりキットや入門書も販売しており、出張講習も行なっているので、エリア外の人もペパバッグに取り組むことができます。